

たるみ歯科通信

2019年6月号 No. 102

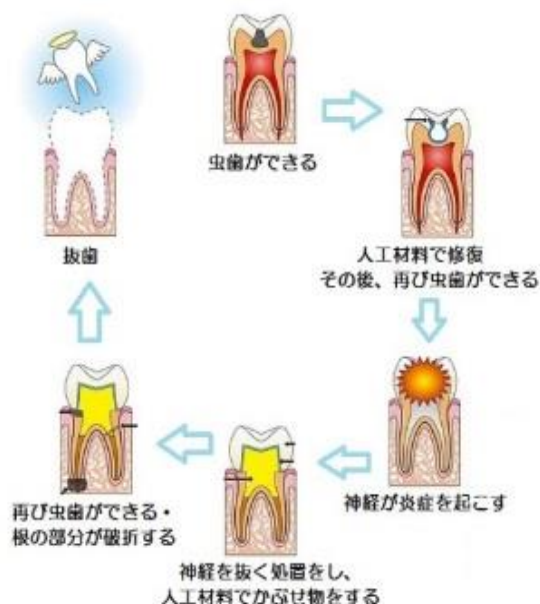
こんにちは、歯科助手の堀です。

長いゴールデンウィークが終わったと思ったら、急に暑くなってきました。気温の変化が激しいので、皆さん、お体に気をつけてくださいね。

さて今回の通信では、『**私たちが治療計画を立てる時に大切にしていること**』についてお話しします。

どんな治療法にも利点・欠点があり、100%確実といえる方法はありません。なので、私たちはその方の年齢・背景なども考慮して、「**今は治療しない**」という**選択肢を含めた何通りかの治療方針をお伝えする**ようにしています。

歯科では、歯を削ったり、歯や神経を抜いたりした後に人工材料（樹脂や金属など）を詰めたり被せたりする治療が多いです。しかし、残念ながら、人工材料は時間が経つとお口の中でだんだん劣化していきます。そして運悪く再治療を繰り返されると、残っている歯質が薄くなって、歯を失ってしまうことにつながります。



歯科は命に関わる緊急の医療ではなく、「食べる」「しゃべる」「笑う」といった皆さんの日々の生活に密着した医療です。このため私たちは、**問診で得られた患者さんの想いや望みにできるだけ沿うように**、複数の治療方針を立ててお伝えすることを大切にしています。

訊く（問診）

伝える

- ・患者情報（年齢、職種、家族等）
- ・来院動機（なぜこの医院に来たのか）
- ・既往歴、喫煙歴、服薬情報

- ・可能な限り複数の選択肢
- ・それぞれの利点、欠点
- ・治療しなかった場合の説明

私たちが「緊急性が低い」と診断した場合には、「**今すぐには治療せず、定期健診で長期観察を続けながら、変化があれば治療を始めませんか？**」という提案をすることもあります。

これは、当院では患者さんのお口の中の写真・レントゲン写真などの資料を定期的に揃えてお口の中の状態の変化を追えるようにしていることと、ムシ歯や歯周病は生活習慣病であり、ちょっとした努力や工夫でその進行をコントロールできることがその理由です。

私たちは「**複数の治療方針を示すこと**」や「**長期観察のスタイル**」がその方にとって**価値のある歯科治療につながる**と考えています。

お知らせ

- ☆ 矯正診療日は、**20日(木)午後**です。
- ☆ 院内研修のため、**21日(金)午前**は**休診**といたします。